

特派員レポート
広報特派員によるスナップレポートをお届け

地産地消で美味しく健康に

9月22日(金)／保健センター (大字堤根)

地域で生産された米の消費拡大を目的として、杉戸農業高等学校で栽培された新米を使用した「ヘルスマイトの米料理教室」が開催されました。今回は、杉戸農業高等学校の食品研究同好会の生徒2名から地域の稲作などについての発表、手作りの啓発資料が参加者へ配布されました。生徒のお米への想いに触れ、参加者もお米への関心が高まっていました。

(広報特派員 渡辺 光子)



故人への想い、感謝を伝える

9月24日(日)／八幡香取神社 (大字佐左エ門)

農作物の収穫のお礼として行われる「九日祭」と故人を偲び、慰める「戦没者慰霊祭」が開催されました。25区には、23柱の御霊があり、今の平和につながっていると言われています。感謝の気持ちが伝わり、今後も温かく見守っていただきますように。

(広報特派員 荻原 千秋)

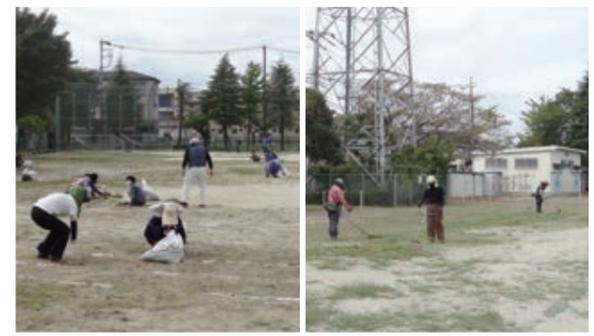


みんなできれいな校庭へ

9月30日(土)／杉戸小学校校庭 (内田2丁目)

シルバー人材センターによる杉戸小学校校庭のボランティア除草作業が行われました。当日は、50名を超える会員の方々が、美化活動を行い、きれいな校庭になりました。

(広報特派員 長島 常夫)



関東三大施餓鬼

8月22日(火)・23日(水)／永福寺 (大字下高野)

今年も永福寺の大施餓鬼が行われました。600年以上の歴史を有し、特に23日は因幡池に「どじょう」を放つ供養があり、多くの人が訪れました。

(広報特派員 長島 常夫)



協力して地域に還元

8月26日(土)／西小学校校庭 (高野台南5丁目)

2-2区では、西小学校に行事などで協力していたお礼として小学校校庭に設置してある2-2区防災倉庫周辺の除草作業を年2回行っています。今回は、30名ほどの参加者が1時間程度、草刈り機等を使用して除草作業を行いました。水分を取りながら熱中症に注意し、みなさん集中して行い、きれいになった様子を見て笑顔で終わっていました。

(広報特派員 畠山 千鶴子)



事故ゼロの安心安全をつくろう

9月16日(土)／宮代町役場 (宮代町)

9月21日から30日の秋の全国交通安全運動に先立って、杉戸町・宮代町合同の「全国交通安全運動出陣式」が行われました。出陣式の参加者は、正しい交通ルールと交通マナー普及のため、交通事故防止活動を行いました。

(広報特派員 渡辺 光子)



**10月2日(月)／グリーンカーテンフォトコンテスト
グリーンカーテンでエコライフ**

家庭や事業所でチャレンジしていただいたグリーンカーテンの写真で、「令和5年度グリーンカーテンフォトコンテスト」を開催し、立派に育った作品が多数寄せられました。

入賞者の皆様と最優秀賞作品は次の通りです。また、すべての作品を町ホームページ(右QRコード)に掲載していますので、ぜひご覧ください。



環境課



個人部門 最優秀賞

受賞者 (敬称略)

個人部門 最優秀賞 松本 留夫
優秀賞 上原 典子

団体部門 最優秀賞 杉戸町立泉放課後児童クラブ
優秀賞 杉戸町立杉戸第二小学校



団体部門 最優秀賞

**9月16日(土)／第45回杉戸町囲碁大会
優勝めざして碁を打つ**

すぎとピア(大字堤根)にて公民館主催の囲碁大会に、囲碁愛好者24名が参加しました。結果は次のとおりです。

(敬称略) **Aクラス** 優勝／岩田能里、準優勝／小川洋、3位／石澤龍一、**Bクラス** 優勝／川島英夫、準優勝／佐藤隆、3位／栗原文雄

公民館



**8月27日(日)／夏のエコ・スポお楽しみ会
スポーツ×緑日＝暑い夏の思い出**

エコ・スポいずみ(大字木津内)にて、「夏のエコ・スポお楽しみ会」が開催されました。ニュースポーツ等の体験コーナーや緑日のアトラクション等が実施され、参加した方々の夏の思い出の1ページとなりました。

社会教育課



当日は、お子さんからご高齢の方まで約200名の参加がありました。

**9月9日(土)／第47回杉戸町将棋大会
集中して臨んだ対局**

すぎとピア(大字堤根)にて公民館主催の将棋大会に、将棋愛好者22名が参加しました。結果は次のとおりです。

(敬称略) **Aクラス** 優勝／田中正明、準優勝／高梨健一、**Bクラス** 優勝／後靖博、準優勝／小林文雄、**Cクラス** 優勝／荒川雄司、準優勝／島村忠雄

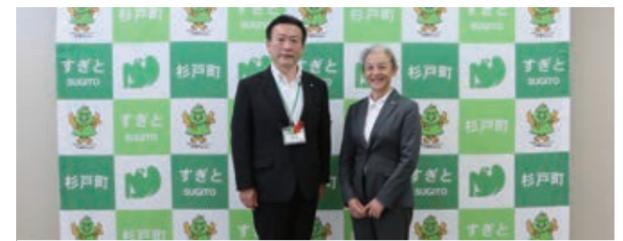
公民館



**10月6日(金)／表敬訪問
JICA海外協力隊員が表敬訪問**

JICA海外協力隊としてスリランカに2年間派遣される若菜素子さんが、出発を前に表敬訪問しました。若菜さんは、町内在住の陶芸講師であり、現地では、視覚・舞台芸術大学に所属し、陶磁器について指導を行います。

住民協働課



(写真左から)窪田町長、若菜素子さん

日本の陶芸について伝える傍ら、現地の原料での制作方法を探求し、現場に携わる方とともに考え、現地のためとなるよう頑張っていたと語っていました。